

新型コロナウイルスの感染拡大で苦し
経営が続く飲食店を応援しようと、のぼり

横浜の製作会社 無料で配布中

同社は飲食店の販促用のぼり旗を製造販
売している。顧客約4千店のうち、9割は
飲食店。「今まで助けてきてもらつた。困
つてゐる飲食店の力になりたいと思つた」



弁当を準備する店員＝藤沢市南藤沢

持ち帰りや宅配 活路探る飲食店

普段は客が使うテーブル
の上に、できたての焼き肉
弁当や唐揚げ弁当が並ぶ。
藤沢市南藤沢の焼肉店

「湘南肉豚屋」は、4月2
日から新たに弁当の配達を
始めた。2010年に開店

従業員は、社員やアルバ
イトが10人。吉田亘良社長
(47)は「従業員の働く場所
を確保すると同時に、和牛
などいい食材のロスを防ぐ
こともできる。お客様との
接点も保ち続けられる」と話す。

2、3日前にSNSで
「弁当開始」を告知。1日
は市役所にチラシを持つて
営業に回った。初日の発注
は35個。「悪い弁当を出し

し、ランチとディナーの営
業をしていたが、感染拡大
を受けて3月にはランチを
やめた。

従業員は、社員やアルバ
イトが10人。吉田亘良社長
(47)は「従業員の働く場所
を確保すると同時に、和牛
などいい食材のロスを防ぐ
こともできる。お客様との
接点も保ち続けられる」と話す。

2、3日前にSNSで
「弁当開始」を告知。1日
は市役所にチラシを持つて
営業に回った。初日の発注
は35個。「悪い弁当を出し

ポストコロナも視野

新型コロナウイルスの感染拡大で外出する人が減り、飲食店の利用客が減る一方で、テイクアウトや配達に取り組む店が増えている。地域ごとに特集サイトを作る動きも出てきた。店主らは将来への不安も抱きながら、工夫を続けている。

特集サイト 閲覧数が急上昇

ていれば注文はこなくな
る。一つ一つがお客様と
の勝負。これからです」
全国で飲食店2万1千店
余りの宅配代行を行う「出
前館」によると、3月の全
国での注文件数は、前年同
期比で12.1%。店舗数も
同11.5%になつており単
純比較はできないが、担当
者は「新型コロナの影響で
在宅時間が増えていること
や、人との接触を減らした
いというニーズが好調の一
因ではないか」とみている。

同社のサービスを新たに

使いたいという飲食店から
の問い合わせも増え、3月
は、1～2月に比べ4倍以
上になつてているという。同

社は3月、感染防止のた

め、商品を手渡しではなく
玄関先などに置いて届
ける「非接触デリバリー」
も始めた。

テイクアウトや宅配をする
飲食店の情報を共有する
動きもある。

横須賀市周辺の飲食店や

商店など約600店を紹介

するウェブサイト「ヨコス

カイチバン」。そのトップ

ページに、「テイクアウト

・デリバリー特集」と記し

たアイコンがてきた。居酒

屋や焼き鳥屋、エスニック

料理店など「中食」になじ

みが薄い店も目立つ。

サイトを運営する横須賀

商工会議所が開設に動き出

したのは2月下旬。2週間

にわたるイベント自粛を政

府が要請したことだ。

にわたりイベント自粛を政

府が要請したことだ。

したのは2月下旬。2週間

にわたるイベント自粛を政

府が要請したことだ。

したのは2月下旬。2週間

にわたるイベント自粛を政